CHC-100

チャプター検出システム

操作説明書

Ver.1.1



目 次

			ページ
1.	概要		З
	1.1 シス	マテム構成図	
2.	検出シス	テム	4
	2.1 X-	イン画面	4
	2.1.1	スタートボタン	
	2.1.2	メニューバー	5
	2.1.3	卓選択ボタン	6
	2.1.4	判定結果ログ表示	
	2.1.5	判定設定值表示	9
	2.1.6	サムネイル表示	10
	2.1.7	運用状況リスト表示	11
	2.2 設定	₽	
	2.2.1	起動時設定	12
	2.2.2	時刻同期設定	13
	2.2.3	チャプター判定保存設定	
	2.2.4	システムログ保存設定	17
	2.2.5	同録設定	
	2.2.6	システム設定ファイル保存	20
	2.2.7	判定基準設定	21
	2.2.8	ロゴ設定	
	2.2.9	予約設定	44
	2.2.10	判定設定一覧	
	2.2.11	接続設定	53
	2.2.12	プレーヤー接続設定	55
	2.3 ログ	ブ操作・状況表示	
	2.3.1	システムログ表示	
	2.3.1	ログ検索	
	2.3.2	ログ削除	
	2.3.3	判定結果ログ読込み	60
	2.3.4	共通設定	61
	2.3.5	運用状況リスト表示切替	63
	2.4 /\-	- ド情報参照	64
	2.4.1	バージョン情報	64
	2.4.2	閾値参照	
	2.4.3	状態参照	
	2.4.4	時刻参照・設定	
	2.4.5	NetQ 出力参照・設定	71
	2.5 ×3	ノテナンス	73

Ver.1.1

	2.5.1	疑似トリガ出力	73
	2.6 シン	ステムの終了・ソフトウェアバージョン情報	75
	2.6.1	システムの終了	75
	2.6.2	ソフトウェアバージョン情報	76
З.	プレーヤ) —	77
	3.1 プ	レーヤー 画面	77
	3.1.1	メニューバー	
	3.1.2	ビデオ動画再生パネル	
	3.1.3	シークバー	
	3.1.4	動画再生リモコン	
	3.1.5	音量調整パネル	
	3.1.6	機能ボタンパネル	

本書は、CHC-100 チャプター検出システム(以下、検出システム)の操作について説明するもので す。検出システムは、下記2種類のソフトウェアにおいて操作します。

① 検出システム

② 直近同録プレーヤー(以下プレーヤー)



1.1 システム構成図

検出システムの仕様	
チャプター判定結果ログ最大登録件数	5,000件
同録ファイル(AVIファイル)最大秒数	60 秒

2. 検出システム

2.1 メイン画面

ി					アルビクス	、チャプター検知識	表置《 CHC-100》			- 8	x
<u> </u>	とし 設定 ログ擦	昨・状況表示 ハード情	 	ナンス							
3		LVDX									
Ŭ	卓1									ALVIX	
	ログ日時	内部日時	TC	Ft7%-	番号	尺		通知	<u>^</u>	無音判定閾値[dB]	-55
4	2014/02/28 20:36:57					Ŧ	Fャブター判定を開始しました	人力信号:480i】		無音リトリガ	ON
-	2014/02/28 20:37:07	2014/02/28 20:37:01:14	20:37:01:14	CM 士/词	1	0 m 14.7 s				小感带時間[秒]	1
	2014/02/28 20:37:23	2014/02/28 20:37:16:06	20:37:16:06	小編		12 m 56.0 s			_	7~9张取時間[秒]	5
	2014/02/28 20:50:19	2014/02/28 20:50:12:05	20:50:12:05	CM	2	0 m 15.4 s				相関係数(半均)1	0.25
	2014/02/28 20:50:34	2014/02/28 20:50:27:10	20:50:42:02	CM	3	0m 15.0s				相関1条数(偏差)1	0.25
	2014/02/28 20:51:04	2014/02/28 20:50:57:02	20:50:57:02	CM	4	0 m 15.0 s				相関1系数(半均)2	· ·
	2014/02/28 20:51:19	2014/02/28 20:51:12:03	20:51:12:03	CM	5	0 m 15.0 s				相関係数(偏差)2	•
	2014/02/28 20:51:34	2014/02/28 20:51:27:03	20:51:27:03	СМ	6	0 m 15.0 s				相関係数(半均)3	•
	2014/02/28 20:51:49	2014/02/28 20:51:42:02	20:51:42:02	CM	7	0 m 15.0 s				相関係数(偏差)3	•
	2014/02/28 20:52:04	2014/02/28 20:51:57:02	20:51:57:02	СМ	8	0 m 15.1 s				相関係数(半均)4	•
	2014/02/28 20:52:19	2014/02/28 20:52:12:05	20:52:12:05	本編		0 m 35.0 s				相関係数(偏差)4	·
	2014/02/28 20:52:54	2014/02/28 20:52:47:04	20:52:47:04	СМ	1	0 m 10.0 s					
	2014/02/28 20:53:11	2014/02/28 20:52:57:04	20:52:57:04	СМ	2	0 m 20.0 s					
	2014/02/28 20:53:24	2014/02/28 20:53:17:05	20:53:17:05	СМ	3	0 m 14.9 s					
	2014/02/28 20:53:39	2014/02/28 20:53:32:03	20:53:32:03	CM	4	0 m 15.0 s					
	2014/02/28 20:53:54	2014/02/28 20:53:47:03	20:53:47:03	CM	5	0 m 15.1 s					
	2014/02/28 20:54:09	2014/02/28 20:54:02:06	20:54:02:06	CM	6	0 m 14.9 s					
	2014/02/28 20:54:24	2014/02/28 20:54:17:04	20:54:17:04	СМ	7	0 m 15.0 s					
6										」グ選択サムネイル	
0				12		Alter.					
	100 V 100		Contraction of					5			
	N. 195							1.10	-	-	
								A Contraction			
	2014/03/03 09:	:16:27	2014/03/03 09:10	5:42		2014/03/03 09:	16:56 2	014/03/03 09:17:27	2	014/03/02 19:56:20	
	卓1		卓1			卓1		卓1		直1	
										# *	$ \rightarrow$
$\overline{\mathcal{O}}$	運用状況							判定終了分削除			
Ŭ	状態		番組名称			設定名称	判定開始日時	 ¥	间定終了日時		
	判定終了	1 卓1	ALVIX			ALVIX	2014/02/28 20:36:53	2	014/03/03 09:22:4	17	- 1
											- 1

詳細については以下を参照してください。

- ① 2.1.1 スタートボタン
- 2 2.1.2 メニューバー
- ③ 2.1.3 卓選択ボタン
- ④ 2.1.4 判定結果ログ表示
- ⑤ 2.1.5 判定設定値
- ⑥ 2.1.6 サムネイル表示
- ⑦ 2.1.7 運用状況リスト表示

2.1.1 スタートボタン

クリックすることで「システムの終了」、「ソフトウェアバージョン」項目が表示されます。 詳細は2.6「システムの終了・ソフトウェアバージョン情報」を参照してください。

2.1.2 メニューバー

・クリックすることで各項目のメニューが表示されます。 メニューの内容については 2.2「設定」、2.3「ログ操作・状況表示」、2.4「ハード情報参照」 を参照してください。

						•	x
2017 - 10 - 10 - 10 - 10 - 10 - 10 - 10 -	犬況表示 ハード情報参照	メンテナンス					
19月 起動時設定	📓 システムログ保存設定	🗈 システム設定ファイル読込み	\$■判定基準設定	📍 接続設定			
🙆 時刻同期設定	🔲 同錄設定		🚺 予約設定	🔘 ブレーヤー接続設定			
🧾 チャプター判定保存設定	🛍 システム設定ファイル保存		🛄 判定設定一覧				
	システム		チャプター設定	接続管理			

 ・メニュー表示状態でメニューバーをダブルクリックすることで、メニューの下にボタンが表示 されます。

1000 設定 ログ操作・対	況表示 ハード情報参照	アルビクス チャプタ メンテナンス	∽検知装置≪CHC-1	00≫	_ = X
図 起動時設定 ③ 時刻同期設定 チャプター判定保存設定	 ・ システムログ保存設定 □ 同録設定 ・ ・ システム設定ファイル保存 ・ システム ・ システム ・ システム ・ システム ・ ・ システム ・ ・ ・	■ システム設定ファイル読込み	 ○ 判定基準設定 ○ 予約設定 ○ 判定設定→覧 (○ 判定設定→覧 	● 接続設定 ③ ブレーヤー接続設定 – 接続設定 – 接続設定	
ALVIR 卓1 0万日時	内部日時 TC	₩7%~ 番号 尺		<u>通</u> 知	ALVIX ▲ 【無音判定關値(dB) -55

・メニュー及びボタン表示状態でメニューバーをダブルクリックすることで、メニューが非表示 になります。

	•									•	x
E	設定	ログ操作・状況表示	ハード情報参照	メンテナンス							
	卓							ALV	IX		
	ログ日時	内部日	時	TC ቻャフ°ター	番号	尺	通知	▲ ■ 無音	判定閾値[di	B]	-55

2.1.3 卓選択ボタン

(1) 判定状態表示

判定状態に応じて以下のとおりボタン色が変化します。

卓1 ・起動後、判定前の状態では、 となります。 ・判定中は判定状態により、以下のとおりとなります。 卓1 判定結果:CM 卓1 判定結果:本編 卓1 判定結果:判定前 また、判定停止後は、直前の状態が保持されます。 卓1 ・判定を行っていない状態で、予約設定がある場合、 となります。 (2)番組名称表示 指定する番組名称をボタン上に表示します。



(3)接続状況表示

CHC及び同録ユニットと通信が切断された場合は、それぞれボタン上にエラー表示されます。



(4)判定開始設定

判定が行われていない状態の時に、卓ボタン上で右クリックし、「判定開始」メニューを選択す ると、判定基準設定を選択するダイアログが開くので、判定に使用する設定を選択してくださ い。





番組名入力画面が表示されたら、任意の番組名を入力し、「OK」をクリックすると、判定が開始します。「キャンセル」をクリックすると、番組名入力画面は閉じ、判定は開始しません。



(5) 判定停止設定

判定中に卓ボタン上で右クリックし、表示される「判定停止」をクリックします。



2.1.4 判定結果ログ表示

・判定結果を表示します。

	ログ日時	内部日時	TC	ቻቀን%፦	番号	尺	通知	*
Þ	2014/02/28 13:46:38						チャプター判定を開始しました【入力信号:480i】	
	2014/02/28 13:46:46	2014/02/28 13:46:41:01	13:46:41:01	本編		2 m 31.3 s		
	2014/02/28 13:49:19	2014/02/28 13:49:12:10	13:49:12:10	CM	1	0 m 29.9 s		
	2014/02/28 13:49:49	2014/02/28 13:49:42:07	13:49:42:07	CM	2	0 m 15.0 s		
	2014/02/28 13:50:04	2014/02/28 13:49:57:07	13:49:57:07	CM	3	0 m 15.1 s		Ξ
	2014/02/28 13:50:20	2014/02/28 13:50:12:11	13:50:12:11	CM	4	0 m 14.9 s		
	2014/02/28 13:50:34	2014/02/28 13:50:27:09	13:50:27:09	CM	5	0 m 15.0 s		
	2014/02/28 13:50:49	2014/02/28 13:50:42:09	13:50:42:09	本編				
								-

・判定結果が本編の場合は、背景色は白色、CMの場合は、紫色で表示します。

判定開始/停止、同期断等のシステムエラーの場合は、背景色を緑色で表示します。

・判定結果ログをダブルクリックすると同録再生を準備します。

2.1.5 判定設定値表示

・選択中の卓に関連付けられている判定設定を表示します。

ALVIX	
無音判定閾値[dB]	-55
無音リトリガ	ON
不感帯時間[秒]	1
データ採取時間[秒]	5
相関係数(平均)1	0.25
相関係数 <mark>(偏差)1</mark>	0.25
相関係数(平均)2	-
相関係数(偏差)2	-
相関係数(平均)3	-
相関係数 (偏差)3	-
相関係数(平均)4	-
相関係数(偏差)4	-

2.1.6 サムネイル表示

・チャプター判定結果のサムネイルが表示されます。



- ・最新4件のサムネイルとログ選択サムネイルが表示されます。
- ・判定結果ログをクリックすると「ログ選択サムネイル」に表示されます。 クリックした判定結果ログが最新4件の中にある場合はそのサムネイルに水色の枠が付きます。
- ・サムネイルをダブルクリックすると同録ファイル(AVIファイル)が作成され、プレーヤー
 にて再生されます。

2.1.7 運用状況リスト表示

・各卓の判定状況、予約設定状況を表示します。

運用状況					判定終了分削除	
状態	卓No.	卓名称	番組名称	設定名称	判定開始日時	判定終了日時
判定終了	1	卓1	ALVIX	ALVIX	2014/02/28 13:29:51	2014/02/28 13:43:14
判定終了	1	卓1	ALVIX	ALVIX	2014/02/28 11:59:00	2014/02/28 12:01:29
判定終了	1	卓1	ALVIX	ALVIX	2014/02/28 11:12:46	2014/02/28 11:51:48
判定中(CM)	1	卓1	ALVIX	ALVIX	2014/02/28 13:46:33	
予約判定待機中	2	卓2	ALVIX-HD	ALVIX_HD	2014/03/01 14:00:00	2014/03/01 15:00:00
1.00Linet	2	¥2	ALVIATIO	ALVIA_ND	2014/03/01 14:00:00	2014/03/01 13:00:00

・判定中は、チャプター判定結果に応じて表示が変わります。

・判定が終了した設定の背景色はグレーになります。

・<u>判定終了分削除</u> ボタンをクリックすると、判定が終了した設定はリストから削除されます。 また、右クリックでポップアップメニューを呼出し、「リストから消去」を選択することで、任 意の1項目を削除することもできます。

2.2 設定

2.2.1 起動時設定

◇CHC-100のヘルスチェック間隔を設定します。

起動時設定	X
ヘルスチ	エック間隔
10	● 秒間隔でヘルスチェックを行います
_	OK キャンセル

(1)本画面の起動

メニューバーの「設定」→「システム」カテゴリー内→「起動時」をクリックします。

(2)設定

①ヘルスチェック間隔

- ・設定した間隔で CHC-100 に対するヘルスチェックを行います。
- ・値の範囲は 10~3600 秒です。

(3) 設定の保存と本画面の終了

ОК

(4)本画面の終了

キャンセル ボタンをクリックします。

「OK」ボタンをクリックせずに「キャンセル」ボタンをクリックした場合は、変更した設定 値は無効となります。

2.2.2 時刻同期設定

◇ 時刻を補正するための時刻取得方法と補正のタイミングを設定します。

時刻同期設定
時刻の取得方法 外部からの時刻をPCIこ設定すると共にハードウェアへの設定も行います。
◎ NTPサーバーを使用して時刻合わせを行う NTPサーバーのIPアドレス 192.168.200.200
◎ HTTPを使用して時刻合わせを行う(webサーバーが必要です) WebサーバーのIPアドレス
◎ 外部から時刻を取得しない(PCの時刻をハードウェアに設定します)
時刻合わせの契機
◎ 1日に2回 0 豪 時と 0 豪 時に合わせます
 ○毎日 ○ 毎日 <
 経過時間 (0) () () () () () () () () () () () () ()
今すぐ時刻合わせを行う
OK キャンセル

(1)本画面の起動

メニューバーの「設定」→「システム」カテゴリー内→「時刻同期」をクリックします。

(2)時刻の取得方法

①NTP サーバーを使用

◎ NTPサーバーを使用して時刻合わせを行う にチェックをし、NTP サーバーの IP アドレスを入力します。

②HTTP サーバーを使用

● HTTPを使用して時刻合わせを行う(webサーバーが必要です)にチェックをし、WEB サーバーのIP アドレスを入力します。

③外部から時刻を取得しない

◎ 外部から時刻を取得しない(PCの時刻をハードウェアに設定します) にチェックをします。 この設定をした場合であっても PC と CHC-100 の時刻同期は行います。

(3)時刻補正のタイミング

①日に2回

◎ 1日に2回 1 등 時と 13 등 時に合わせます にチェックをし、時刻補正を行う時刻を入力します。

2日に1回

●毎日 2 등 時に合わせます にチェックをし、時刻補正を行う時刻を入力します。

③日に数回

・設定範囲は<1>~<1440>です。

※チャプター判定中と、23:55:00~0:05:00 の間は時刻補正を行いません。

(4)手動時刻合わせ機能

設定されている時刻の取得方法を使用し、手動での時刻合わせを行います。 今すぐ時刻合わせを行う ボタンをクリックします。

(5) 設定の保存と本画面の終了

OK

│ ボタンをクリックすることで設定を保存し本画面を閉じます。

(6)本画面の終了

キャンセル ボタンをクリックします。

「OK」ボタンをクリックせずに「キャンセル」ボタンをクリックした場合は変更した設定値は無効となります。

2.2.3 チャプター判定保存設定

◇ 判定基準設定と、チャプター判定結果を保存するフォルダを設定します。

判定基準設定保存設定		
判定基準設定を保存するフォルダを指定してください		
保存フォルダ ¥¥		
チャプター判定結果を保存するフォルダを指定してください		
保存フォルダ ¥¥ == == == == == == == == == == 選択		
OK キャンセル		

(1)本画面の起動

メニューバーの「設定」→「システム」カテゴリー内→「チャプター判定保存設定」をクリッ クします。

(2)設定

①判定基準設定保存フォルダ設定

- ・判定基準設定ファイルを保存するフォルダを設定します。
- ・ 選択 をクリックしてフォルダ参照画面より保存フォルダを選択するか、直接パスを入力 してください。
- ・設定できるパスは200文字までです。

※設定するフォルダの配下に卓 No.に相当する 1~12 のフォルダを自動作成します。

②チャプター判定結果保存フォルダ設定

- ・チャプター判定結果を保存するフォルダを設定します。
- ・ 選択 をクリックしてフォルダ参照画面より保存フォルダを選択するか、直接パスを入力 してください。
- ・設定できるパスは200文字までです。

※チャプター判定結果は、"ログ__判定開始日_時分秒_番組名称.csv"のファイル名で保存されます。

(3) 設定の保存と本画面の終了

ОК

」ボタンをクリックすることで設定を保存し本画面を閉じます。

(4)本画面の終了

キャンセル ボタンをクリックします。

「OK」ボタンをクリックせずに「キャンセル」ボタンをクリックした場合は変更した設定値は無効となります。

◇ 発生したログの保存フォルダを設定します。

システムログ保存設	定	×
✓ ログをファイルに保存する ※保存フォルダにフルパスを設定しなかった場合、 インストールフォルダ配下に入力したフォルダを作成して保存します。		
保存フォルダ	¥¥36,36,36,36,368,469,061,2434,41487846	選択
	OK キャン	rtzil

(1)本画面の起動

メニューバーの「設定」→「システム」カテゴリー内→「システムログ保存設定」をクリック します。

(2)設定

①ログをファイルに保存する

チェックを入れることでログを CSV 形式で保存します。

②保存フォルダ設定

- ・CSV ファイルを保存するフォルダを設定します。
- ・ 選択 をクリックしてフォルダ参照画面より保存フォルダを選択するか、直接パスを入力 してください。
- ・設定できるパスは200文字までです。
- ※保存時は設定フォルダの配下に"年"フォルダ及び"月"フォルダを自動作成し、その配下に"ログ_年月日.csv"という形式で保存されます。

(3) 設定の保存と本画面の終了

(4)本画面の終了

OK

キャンセルボタンをクリックします。

「OK」ボタンをクリックせずに「キャンセル」ボタンをクリックした場合は変更した設定値は無効となります。

2.2.5 同録設定

◇ 同録作成の設定を行います。

同録設定		
手動作成 再生時間 前 0 豪 秒 後 8 豪 秒 (保存フォレク設定)		
※設定変更時にプレーヤーの再起動を行ないます。 ¥¥		
自動作成		
☑ 同録ファイルの自動作成を行う		
保存フォルダ設定		
¥¥ ■ 1 ■ 1 ■ 1 ■ 1 ■ 1 ■ 1 ■ 1 ■ 1 ■ 1 ■		
HDD残容量によるファイル制御 HDD容量が以下の容量未満となったときに自動的に古いファイルを削除します。 170 の MByte の GByte		
OK キャンセル		

(1)本画面の起動

メニューバーの「設定」→「システム」カテゴリー内→「同録設定」をクリックします。

(2)手動作成設定

①再生時間

- ・作成する同録の再生時間を設定します。チャプター判定結果からの前・後秒を設定します。
- ・値の範囲は前秒が0~30秒、後秒が1~30秒です。

②保存フォルダ設定

- ・同録ファイルを保存するフォルダを設定します。
- ・ 選択 をクリックしてフォルダ参照画面より保存フォルダを選択するか、直接パスを入力

してください。

・設定できるパスは200文字までです。

※設定変更を反映する際にはプレーヤーの再起動を自動で行います。

(3)自動作成設定

①自動作成

- ・・・・同録ファイルの自動作成を行う
 にチェックを入れると、チャプター判定結果が出た時に、自動で同録ファイルを作成します。
- ・作成秒数は手動作成設定の再生時間の設定に従います。

2保存フォルダ設定

- ・自動作成された同録ファイルを保存するフォルダを設定します。
- ・ 選択 をクリックしてフォルダ参照画面より保存フォルダを選択するか、直接パスを入力 してください。
- ・設定できるパスは200文字までです。
- ・自動作成と手動作成の保存フォルダは別の場所を指定してください。

※設定変更を反映する際にはプレーヤーの再起動を自動で行います。

③HDD 残容量によるファイル制御

- ・HDD 容量が設定する容量未満となった時に自動的に古いファイルから削除します。
- . 170 O MByte O GByte のように、テキストボックスに数値を入れ、Mbyte か GByte
- を選択し、単位を設定することにより、HDD 残容量を指定します。
- ・設定範囲は、O MByte ~ 9999 MByte、O GByte ~ 9999 GByte です。

(4) 設定の保存と本画面の終了

OK ボタンをクリックすることで設定を保存し本画面を閉じます。

(5)本画面の終了

<u>キャンセル</u> ボタンをクリックします。

「OK」ボタンをクリックせずに「キャンセル」ボタンをクリックした場合は変更した設定値は無効となります。

◇各システム設定ファイルを保存します。

◇この設定は PC 固有の設定です。

システム設定ファイル保存	
※保存フォルダにフルパスを設定しなかった場合、 インストールフォルダ配下に入力したフォルダを作成して保存します。	
保存フォルダ ¥¥ 2010年1月1日1日1日1日1日1日1日1日1日1日1日1日1日1日1日1日1日1日1	
保存 キャンセル	

(1)本画面の起動

メニューバーの「設定」→「システム」カテゴリー内→「システム設定ファイル保存」をク リックします。

(2)設定

- ・チャプター検出システムでの各システム設定ファイルを保存するフォルダを設定します。
- ・ 選択 をクリックしてフォルダ参照画面より保存フォルダを選択するか、直接パスを入力してください。
- ・設定できるパスは200文字までです。

(3)システム設定ファイルの保存と本画面の終了

保存 ボタンをクリックすることで設定を保存し本画面を閉じます。

(4)本画面の終了

<u>キャンセル</u> ボタンをクリックします。

2.2.7 判定基準設定

◇チャプター判定を行う際の値を設定します。

(1)本画面の起動

メニューバーの「設定」→「チャプター設定」カテゴリー内→「判定基準設定」をクリックし ます。

(2)設定方法選択

設定を新規に行うか、既存の設定を変更するか選択します。 設定方法を選択したら、「次へ」をクリックしてください。 「キャンセル」をクリックすると、設定は行われず画面が閉じます。

判定基準設定 ウィザード		
新規に設定を行うか、既存の設定を変更するか選択してください。		
 ● 新規設定 		
新規に設定を行う場合に選択してください。		
◎ 設定変更		
既存の設定を読込み、変更する場合に選択してください。		
< 戻る 次へ > キャンセル		

(3)設定ファイル選択

(2)で設定変更を選択した場合、変更を行う判定基準設定ファイル(*. in i)を選択してください。

判定基準設定 ウィザード
変更したい設定ファイルを読み込みます。
◎ 判定設定つってルたまれ込み 設定を変更する
The same of the same same same same same same same sam
設定ファイルを選択してください。
¥¥ PC HE DA DOPOL
< 戻る 次へ > キャンセル

選択 をクリックしてフォルダ参照画面より保存フォルダを選択するか、直接パスを入力して ください。

設定ファイルを選択したら、「次へ」をクリックしてください。 「キャンセル」をクリックすると、設定は行われず画面を閉じます。 「戻る」をクリックすると、前画面に戻ります。

(4)ロゴ登録

ロゴ設定ファイルを登録します。

	判定基準設定 ウィザード		
	ロゴの登録を行います。		
	判定に使用するロゴの選択 2		
1	VIII ¥¥ III III III III IIII IIII IIII		
	「ロゴ2 ¥¥ 」 」 「 」 」 」 」 」 」 」 」 」 」 」 」 」 」 」		
	2 ロゴ3 選択 削除		
	ロゴ設定ファイルの編集 ロゴ設定の作成・変更を行えます。 ロゴ設定ウィザード開始		
	< 戻る 次へ > キャンセル		

①ロゴ設定有効/無効チェック

ロゴ設定をチャプター判定に使用するかどうか設定します。

判定に使用する場合はチェックを入れてください。

ロゴ設定ファイルが選択されていない場合は、チェックは入れられません。

(注) ロゴ設定ファイルを選択しただけでは、チャプター判定には使用されません。 チャプター判定に使用する場合は、①のチェックを入れ忘れないようにしてください。

②ロゴ設定ファイル選択

選択 をクリックしてファイル選択画面より、ロゴ設定ファイル(*. logo)を選択 してください。

削除 をクリックすると、ロゴ設定ファイルの登録を解除します。

※ロゴ設定ファイルは最大4つまで登録できます。

③ロゴ設定ウィザード

ロゴ設定ウィザード開始

_____設定^{リイリート開始}____をクリックすると、ロゴ設定ファイルを作成、変更を行うウィザ

ードを開始します。

ロゴ設定ウィザードについては、【2.2.8 ロゴ設定】を参照してください。

設定が決定したら、「次へ」をクリックしてください。 「キャンセル」をクリックすると、設定は行われず画面を閉じます。 「戻る」をクリックすると、前画面に戻ります。

(5)音声設定

無音を検知するための設定を行います

	判定基準設定 ウィザード		
	音声モードと無音判定閾値を設定します。		
1	 音声モード設定 ◎ 局間情報に従う (但し、局間情報がない場合は、デフォルト音声モードで動作します) ◎ デフォルト音声モードに従う 		
2	デフォルト音声モード 25 🔻		
3	無音判定閾値		
	-75 (dB)		
	0 -20 -40 -60 -80 -100 -128		
	< 戻る 次へ > キャンセル		

①音声モード設定

局間情報音声モードに従うか、デフォルト音声モードに従うか選択します。 但し、局間情報音声モードがない場合は、デフォルト音声モードで動作します。 【デフォルト値:デフォルト音声モードに従う】

②デフォルト音声モード設定

リストからデフォルト音声モードを選択します。

【デフォルト値:28】

③無音判定閾値設定

無音と判定する閾値を設定します。 値は0~-128dBの範囲で設定します。 【デフォルト値:-75dB】

設定が決定したら、「次へ」をクリックしてください。 「キャンセル」をクリックすると、設定は行われず画面を閉じます。 「戻る」をクリックすると、前画面に戻ります。

(6)判定設定

チャプター判定のための設定を行います。

	判定基準設定 ウィザード		
	チャプター判定のための設定を行います。		
1	不感帯時間		
0	データ採取時間		
	5 (秒)		
	1 5 10 15 20 26		
3	無音判定リトリガ 🔘 OFF 💿 ON タイムコード選択 🔘 VITC 🔘 LTC 💿 内部時計 🛛 🕘		
6	チャプター区切りオフセット(フレーム)		
	本編→CM CM→本編		
	< 戻る 次へ > キャンセル		

①不感帯時間設定

無音検知後に設ける不感帯の時間を設定します。

値は0~26秒の範囲で設定します。

不感帯時間をO秒とした場合、不感帯は設けず、無音検知後、即ロゴ判定データの採取を 開始します。

【デフォルト値:1秒】

②データ採取時間

ロゴデータの採取時間を設定します。

値は1~26秒の範囲で設定します。

【デフォルト値:5秒】

③無音判定リトリガ設定

ロゴ判定データ採取中に再度無音を検知した場合に、チャプター判定シーケンスをやり直 す場合は「ON」を選択してください。 【デフォルト値:ON】 ④タイムコード選択

タイムコードとして使用する設定をVITC、LTC、内部時計から選択します。 但し、VITC、LTCを選択した場合においても、それぞれのタイムコードがない場合 は、内部時計を使用します。

【デフォルト値:内部時計】

⑤チャプター区切りオフセット

チャプターの区切り位置のオフセット量を設定します。

値は以下の範囲で設定します。

本編→CM : -15~0フレーム 【デフォルト値:-3フレーム】 CM→本編 : 0~+15フレーム 【デフォルト値:+3フレーム】

※オフセット量はプラス方向に大きくするほど、区切り位置を遅らせます。 ※CM→CMの区切りについてはオフセットされません。

設定が決定したら、「次へ」をクリックしてください。

「キャンセル」をクリックすると、設定は行われず画面を閉じます。 「戻る」をクリックすると、前画面に戻ります。

(7)出力設定

判定結果の出力の設定を行います。

	判定基準設定 ウィザード		
	判定結果の出力設定を行います。		
	CM開始点刊ガ		
	信号位置 Q3 🔻		
	オフセット量 5 (秒)		
	0 5 10		
	CM終了点刊ガ		
3	信号位置 Q4 🔻		
4	オフセット量 5 (秒)		
	0 5 10		
5	同録グラフ挿入 ◎ OFF ◎ ON		
	< 戻る 次へ > キャンセル		

①CM開始点トリガ信号位置

CM開始点を表すトリガ信号のビット位置を設定します。

ビット位置はQ3~Q32の中から選択できます。

但し、CM終了点トリガ信号位置と異なるビットを指定してください。

【デフォルト値:Q3】

②CM開始点トリガオフセット量

トリガ信号を実際のCM開始点よりどれだけ前に送出するか設定します。 値は0~10秒の範囲で設定します。

【デフォルト値:5秒】

③CM終了点トリガ信号位置

CM終了点を表すトリガ信号のビット位置を設定します。

ビット位置はQ3~Q32の中から選択できます。

但し、CM開始点トリガ信号位置と異なるビットを指定してください。

【デフォルト値:Q4】

④CM終了点トリガオフセット量

トリガ信号を実際のCM開始点よりどれだけ前に送出するか設定します。

値は0~10秒の範囲で設定します。

【デフォルト値:5秒】

⑤同録グラフ挿入設定

同録、ならびに ADJUST MONITOR に音声、ロゴ相関係数のグラフを挿入する場合は 「ON」を選択してください。

【デフォルト値:ON】

※同録グラフ挿入設定を「ON」に設定しても、OUTPUT1、OUTPUT2 にはグラフは挿 入されません。

設定が決定したら、「次へ」をクリックしてください。

「キャンセル」をクリックすると、設定は行われず画面を閉じます。

「戻る」をクリックすると、前画面に戻ります。

(8)設定確認画面

設定の確認を行ってください。



①判定基準設定保存先

選択 をクリックしてファイル選択画面より保存ファイルを指定するか、直接パスを入力して ください。

2設定値一覧

本設定ウィザードで設定した各値を表示します。

③登録ロゴー覧

登録したロゴを表示します。1つの判定基準設定に対し、最大で4個登録できます。それ に満たない場合は、「なし」と表示します。

「完了」をクリックすると、各設定値は指定した判定基準設定ファイル(*. i n i)に保存 されます。

「キャンセル」をクリックすると、設定は行われず画面を閉じます。

「戻る」をクリックすると、前画面に戻ります。

$\left(\right)$	** トラックバーの操作方法 **	
	🚺 をドラッグ(マウスの左ボタンを押したまま)、または、 🗍 をクリックし	
	キーボードの「←」「→」キーで左右に動かします。	
	設定値はトラックバーの右端に表示されます。	

2.2.8 ロゴ設定

◇チャプター判定に用いるロゴの抽出を行います。

(1)装置の選択

ロゴ設定を行うために接続する装置を選択します。 接続する装置を選択したら、「次へ」をクリックしてください。

「キャンセル」をクリックすると、設定は行われず画面が閉じます。

ロゴ設定ウィザード	
このウィザードで、ロゴの抽出を行うことができます。	
設定を行うには、装置本体と接続する必要があります。 リストより接続先を選択してください。 「卓1 ▼	
[< 戻る 次へ > キャンセル

接続している装置をリストより選択します。判定中の装置は表示されません。 接続できる装置がない場合は、判定を停止するか、装置を追加してください。

(2)設定方法選択

設定を新規に行うか、既存の設定を変更するか選択します。 設定方法を選択したら、「次へ」をクリックしてください。 「キャンセル」をクリックすると、設定は行われず画面を閉じます。 「戻る」をクリックすると、前画面に戻ります。

ロゴ設定ウィザード				
新規に設定を行うか、既存の設定を変更するか選択してください。				
◎ 新規設定				
新規に設定を行う場合に選択してください。				
◎ 設定変更				
既存の設定を読込み、変更する場合に選択してください。				
< 戻る 次へ > キャンセル				

(3)設定ファイル選択

(2)で設定変更を選択した場合、変更を行うロゴ設定ファイル(*. 1 o g o)を選択してください。

ロゴ設定ウィザード				
変更したい設定ファイルを読み込みます。				
ロゴ設定ファイルを選択してください。				
¥¥ W W W W W W W W W W W W W W W W W W				
< 戻る (次へ > キャンセル				

選択 をクリックしてファイル選択画面より設定ファイルを選択するか、直接パスを入力して ください。

設定ファイルを選択したら、「次へ」をクリックしてください。 「キャンセル」をクリックすると、設定は行われず画面を閉じます。 「戻る」をクリックすると、前画面に戻ります。

(4)ロゴ検知領域設定

ロゴ検知領域の設定を行います。

	ロゴ設定ウィザード	
	抽出する領域を設定します。	
		2
1	水平開始座標 0 HD:0~1919 SD:0~719 (ピクセル)	
	垂直開始座標 0 HD:0~1079 SD:0~479 (ピクセル)	領域矩形表示 ▼
	水平検知領域 255 0~255 (ピクセル)	
	垂直検知領域 127 0~127 (ピクセル)	
		العليد تحديط الم
		Xハ > キャンセル

①抽出領域設定

ロゴを抽出する領域の左上の座標位置と大きさを設定します。

設定値は、以下の範囲で設定します。

値を変えると、本体へ設定が送信され、反映されます。

	SD	HD	デフォルト値
水平開始座標	0~719	0~1919	0
垂直開始座標	0~479	0~1079	0
水平検知領域	〕領域 0~255		255
垂直検知領域	0~127		127

②ロゴ領域表示設定

ロゴ領域の表示、非表示を設定します。

ロゴ抽出の領域を表示します。

ロゴ領域を表示している時は、ボタンが 非表示 となっています。

■ 非表示 ● をクリックすると、ロゴ領域が消え、ボタンは ● 表示 ● となります。再度

表示 をクリックすると、ロゴ領域は表示されます。

設定はボタンをクリックすると即反映されます。
設定が決定したら、「次へ」をクリックしてください。 「キャンセル」をクリックすると、設定は行われず画面を閉じます。 「戻る」をクリックすると、前画面に戻ります。

(5)エッジゲイン設定

抽出ロゴのエッジゲインの設定を行います。

ロゴ設定ウィザード	
エッジゲインを設定します。	
ノ (エッジゲイン	」 リアルタイムエッジ表示 ▼
0.1 1 2 3	・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
	リアルタイムエッジ表示
	< 戻る 次へ > キャンセル

①エッジゲイン設定

抽出ロゴからノイズ成分を除去し、検知のためのリファレンスロゴを生成する際に用いる パラメータ。抽出エッジが弱い場合は、値を大きくしてください。 値は0.0~3.9の範囲で設定します。 【デフォルト値:1.0】

②ロゴ領域表示設定

ロゴ領域の表示、非表示を設定します。

リアルタイムに検出されたエッジ画像を表示します。

③ヒストグラム表示設定

ヒストグラムの表示、非表示を設定します。

リアルタイムに検出されたエッジ画像に対するヒストグラムを表示します。

ヒストグラム表示中は、音声グラフは表示されません。

設定が決定したら、「次へ」をクリックしてください。 「キャンセル」をクリックすると、設定は行われず画面を閉じます。 「戻る」をクリックすると、前画面に戻ります。

(6)ロゴ抽出設定

ロゴの抽出を行います。

ロコ設定ツイザート		
ロゴを抽出します。		
抽出リセット 抽出再開	ロゴ領域表示: 非表示 抽出エッジ表示 ▼ ヒストグラム: 非表示	3
ロゴファイル保存先 ② ¥¥	抽出エッジ表示	
) 次へ > キャンセル	
	抽出リセット 抽出再開 ロゴファイル保存先 ② ¥¥ ▲ ▲ ▲ ▲ ▲ ▲ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓	抽出リセット 1ゴ領域表示: 非表示 抽出工専が表示 ・ ロゴファイル保存先 ・ マ ¥4 ギALVIX_1.bmp 選択

10	ゴ抽出操作	F
----	-------	---

ロゴ抽出停止中は、ボタンが 抽出開始 をクリックすると、ロゴの抽出が開始し、
ボタンが 抽出停止 になります。 抽出停止 をクリックするとロゴの抽
抽出再開 出を停止し、ボタンが になります。再度、 抽出再開 ボタン
ロゴが抽出済みで、ロゴの抽出が停止している状態の時、 抽出リセット 対になり、クリックすると抽出済みのロゴをリセットします。

②ロゴファイル保存先設定

ロゴの抽出を行った後、 選択 ボタンをクリックして、ロゴファイル(*. bmp) の保存先を指定してください。 ③ロゴ領域表示設定

ボタンをクリックし、ロゴ領域の表示、非表示を設定します。 また、リストよりリアルタイムに検出されたエッジ画像(リアルタイムエッジ表示)、抽出 中のロゴのエッジ画像(抽出エッジ表示)を選択します。

④ヒストグラム表示設定

ボタンをクリックし、ヒストグラムの表示、非表示を設定します。 エッジ画像は、ロゴ領域表示設定で選択する項目に連動して切替ります。

設定が決定したら、「次へ」をクリックしてください。

なお、ロゴの抽出が行われていない、もしくはロゴファイルの保存先が指定されていない状態 では、次画面へは進めません。

「キャンセル」をクリックすると、設定は行われず画面を閉じます。

「戻る」をクリックすると、前画面に戻ります。

(7)2値化閾値設定

2値化閾値の設定を行います。

	ロゴ設定ウィザード	
	2値化閾値を設定します。	
1	2値化閾値 127 0~255 ロゴ領域表示: 非表示 2値化LIッジ表示 ▼	2
	ヒストグラム: ま表示 リアルタイムエッジ表示	3

①2値化閾値設定

抽出したロゴに対し、2値化を行う際に用いるパラメータを設定します。 抽出エッジが弱い場合は小さく、強い場合は大きな値を設定してください。 値は0~255の範囲で設定します。 値を変えると、本体へ設定が送信され、反映されます。 【デフォルト値:127】

②ロゴ領域表示設定

ボタンをクリックし、ロゴ領域の表示、非表示を設定します。 また、リストよりリアルタイムに検出されたエッジ画像(リアルタイムエッジ表示)、2値 化処理後のロゴのエッジ画像(2値化エッジ表示)を選択します。

③ヒストグラム表示設定

ボタンをクリックし、ヒストグラムの表示、非表示を設定します。

設定が決定したら、「次へ」をクリックしてください。 「キャンセル」をクリックすると、設定は行われず画面を閉じます。 「戻る」をクリックすると、前画面に戻ります。

(8)相関係数設定

相関係数の設定を行います。



①相関係数閾値設定

チャプターを判定する閾値を設定します。

チャプターはロゴ判定データ採取時間で設定される時間内のロゴの相関係数の平均値と標 準偏差により以下のとおり判定します。

		標準偏差					
		閾値より小	閾値以上				
页均值	閾値より小	СМ	本編				
平均恒	閾値以上	本編	本編				

値は0.1~0.99の範囲で設定します。

【デフォルト値:0.25】

②ロゴ領域表示設定

ボタンをクリックし、ロゴ領域の表示、非表示を設定します。

リストより検知領域の表示(領域矩形表示)、リアルタイムに検出されたエッジ画像(リア ルタイムエッジ表示)、抽出ロゴのエッジ画像(抽出エッジ表示)、2値化処理後のロゴの エッジ画像(2値化エッジ表示)を選択します。 ③ヒストグラム表示設定

ボタンをクリックし、ヒストグラムの表示、非表示を設定します。 エッジ画像の選択は、ロゴ領域表示設定で選択する項目に連動して切替ります。

設定が決定したら、「次へ」をクリックしてください。

「キャンセル」をクリックすると、設定は行われず画面を閉じます。

「戻る」をクリックすると、前画面に戻ります。

(9)設定確認画面

設定の確認を行ってください。

	ロゴ設定ウィザード
	設定内容を確認してください。
	設定保存先
1	¥¥ 1 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4
2	<<口ゴ設定>>
	BMPファイル名称 : ALVIX_1.bmp 水平開始座標 : O 垂声問始座標 : o
	エッジデータゲイン : 1 2値化閾値 : 127
	相関係数(平均値)閾値 : 0.25 相関係数(標準偏差)閾値 : 0.25
	< 戻る 完了 キャンセル

①ロゴ設定保存先

選択 をクリックしてファイル選択画面より保存ファイルを指定するか、直接パスを入力して ください。

②設定値一覧

本設定ウィザードで設定した各値を表示します。

「完了」をクリックすると、各設定値は指定したロゴ設定ファイル(*. logo)に保存されます。

「キャンセル」をクリックすると、設定は行われず画面を閉じます。 「戻る」をクリックすると、前画面に戻ります。

2.2.9 予約設定

◇チャプター判定の予約を行います。

(1)本画面の起動

メニューバーの「設定」→「チャプター設定」カテゴリー内→「予約設定」をクリックします。

(2) 設定方法選択

設定を新規に行うか、既存の設定を変更するか選択します。 設定方法を選択したら、「次へ」をクリックしてください。 「キャンセル」をクリックすると、設定は行われず画面を閉じます。

🔊 予約設定 ウィザード		x
このウィザードで、チャブター判定のためのセットアップを行うことができます。		
 新規設定 		
新規に設定を行う場合に選択してください。		
◎ 設定変更		
既存の設定を読込み、変更する場合に選択してください。		
< 戻る 次へ >	キャン	ษม

(3)設定ファイル選択

(2)で設定変更を選択した場合、登録済の予約設定リストから変更を行う設定を選択してください。

予約設定を右クリックすると、予約設定を削除することができます。

また、列タイトルをクリックすると、その項目でソートします。

📹 予約設定	ミウィザード									
予約済リストから設定の変更・削除を行います。										
変更を行う _し、削除を	設定を選択し、' 行ってください。	*)欠へ "をクリックしてください	。設定を削除する場合は、 	削除したい設定を右クリック						
卓名称	番組名称	開始日時	終了日時	設定名称						
卓2	ALVIX-HD	2014/03/01 14:00:00	2014/03/01 15:00:00	ALVIX_HD						
			< 戻る) / /	ホヘン キャンセル						

設定を選択したら、「次へ」をクリックしてください。

「キャンセル」をクリックすると、設定は行われず画面を閉じます。 「戻る」をクリックすると、前画面に戻ります。

(4)予約設定

予約の設定を行います

	■ 予約設定 ウィザード
	予約の設定を行います。
1	草石称 田和石称 平月日 開始時刻 於 1 時刻 卓2 ▼ ALVIX-HD 2014/03/01 □▼ 14:00 会 15:00 会
	判定基準設定ファイルの選択 2 3 4 6
6	¥¥ = _ = _ = _ = _ = _ = _ = _ = _ = _ =
	< 戻る 次へ > キャンセル

①卓名称選択

判定を行う装置を選択します。

②番組名称設定

判定を行う番組の名称を入力してください。

③予約開始年月日設定

予約を開始する日付を設定してください。

④予約開始時刻設定

予約を開始する時刻を設定してください。

⑤予約終了時刻設定

予約を終了する時刻を設定してください。

⑥判定基準設定ファイル選択

選択 をクリックしてファイル選択画面より設定ファイルを選択するか、直接パスを入力 してください。 設定が完了したら、「次へ」をクリックしてください。 「キャンセル」をクリックすると、設定は行われず画面を閉じます。 「戻る」をクリックすると、前画面に戻ります。

(5)予約設定確認

予約設定を確認します。

🔊 予約設定 ウィザード		_ _ X
設定内容を確認してください。		
<<錄画予約設定>> 接続先 : 卓2 番組名称 : ALVIX-HD 予約開始日時 : 2014/03/01 予約開始日時 : 14:00:00 予約終了時間 : 15:00:00		
<u></u>	<戻る 完了	キャンセル

「完了」をクリックすると、各設定値は検出システム内部に保存されます。 「キャンセル」をクリックすると、設定は行われず画面を閉じます。 「戻る」をクリックすると、前画面に戻ります。

2.2.10 判定設定一覧

◇装置内に登録されている判定設定を一覧で表示します。

r ið														
卓No.	設定名称	031	210	033	034	音声モード	デフォルト音声	無音閾値	リトリガ	不感帯	デー対釈取	TC選択	オフセット1	オフセット2
1	ALVIX	ALVIX_1.logo	ALVIX_2.logo			1	9	-55	1	1	5	2	0	0
1	ALVIX_SD	ALVIX_SD.logo				1	9	-55	1	1	5	2	0	0
2	ALVIX_HD	ALVIX_HD.logo				1	9	-55	1	1	5	2	0	0
2	AXN					1	9	-64	1	1	5	2	-3	3
											C	K Å	*>セル	適用

(1)本画面の起動

メニューバーの「設定」→「チャプター設定」カテゴリー内→「判定設定一覧」をクリックし ます。

(2)設定変更

卓 No、設定名称以外の項目(セル)をダブルクリックすることにより、各設定値を変更する ことができます。

①ロゴ設定 ※ロゴ(BMP)の変更はできません。

ロゴ設定				×		
水平開始座橋	<u>∰</u> 630	(ピクセル)				
垂直開始座橋	票 30	(ピクセル)		18		
水平検知領地	或 55	(ピクセル)		50.3		
垂直検知領域	或 18	(ピクセル)	ALVIX.bm	ιp		
ーエッジゲイン・						
			0	3		
0.1	1	2	3	3.9		
2値化閾値 ←相関係数(3	127 平均値)閾	值		0.25		
0.1	0.25	0.5	0.75	0.99		
←相関係数(株)	標準偏差) □	閾値		0.25		
0.1	0.25	0.5	0.75	0.99		
ок キャンセル						

②音声モード設定

音声モード設定					
音声モード設定 局間情報に従う デフォルト音声モードに従う 					
ОК ++>UU					

③デフォルト音声モード設定

🧃 デフォル 🗖 🗖 💌 💌
デフォルト音声モード 25 ▼
ок <i>キャンセル</i>

④無音閾値設定

無音閾値								
無音判定閾値								
				0		-75 (dB)		
0	-20	-40	-60	-80	-100	-128		
			ОК) ++	ッンセル			

⑤無音判定リトリガ設定

無音判定リトリガ
 無音判定リトリガ ○ OFF ● ON
ОК * +>セル

⑥不感帯時間設定

不感帯時間						×
不感帯時	間					1 (秒)
0	5	10	15	20	26	1 (10)
		ОК		キャンセル		

⑦データ採取時間設定

データ採用	医時間					×
ーデータ採	聊時間					
	0					5 (秒)
0	5	10	15	20	26	
ОК <i>キャンセル</i>						
		<u>i</u>				

⑧タイムコード選択設定

TC選択		X
タイムコード選択		◎ 内部時計
	οκ キャンቲ	2)1

⑨チャプター区切り(本編→CM)オフセット設定

オフセット値(本編→CM)
本編→CM -3 (フレーム) -15 -10 -5 0
OK キャンセル

10チャプター区切り(CM→本編)オフセット設定

オフセット値(CM→本編)						
CM→本編 0 5 10 15	3 (フレーム)					
OK ##	ンセル					

(3)設定値の保存

適用 ボタンをクリックします。

※設定値に変化がない場合、ボタンは無効となります。

(4) 設定の保存と本画面の終了

OK

ボタンをクリックします。

※設定値に変化がない場合、ボタンは無効となります。

(5)本画面の終了

キャンセル ボタンをクリックします。

「適用」ボタンをクリックせずに「キャンセル」ボタンをクリックした場合は変更した設定値 は無効となります。

2.2.11 接続設定

◇CHC-100 の IP アドレス・SNPM コミュニティ・同録ユニットの IP アドレス・卓名称を設 定します。

报	接続設定								
Γ	卓No	本体IP	コミュニティ	同錄IP	卓名称				
	1	192.168.200.101	public	192.168.200.151	卓1				
L	2	192.168.200.102	public	192.168.200.152	卓2				
	3		public		卓3				
	4		public		卓4				
	5		public		卓5				
	6		public		卓6				
	7		public		卓7				
	8		public		卓8				
	9		public		卓9				
	10		public		卓10				
	11		public		卓11				
	12		public		卓12				
	OK キャンセル								

(1)本画面の起動

メニューバーの「設定」→「接続管理」カテゴリー内→「接続設定」をクリックします。

(2)設定

①本体 IP

CHC-100のIPアドレスを設定します。

②コミュニティ

CHC-100のコミュニティを設定します。

③同録 IP

同録ユニットのIP アドレスを設定します。

④卓名称

メイン画面の卓ボタンに表示される名称を設定します。

(3) 設定の保存と本画面の終了

OK ボタンをクリックすることで設定を保存し、本画面を閉じます。

(4)本画面の終了

キャンセルボタンをクリックします。

「OK」ボタンをクリックせずに「キャンセル」ボタンをクリックした場合は変更した設定値 は無効となります。

2.2.12 プレーヤー接続設定

◇プレーヤーの IP アドレス及びソケットポートの設定を行います。

プレーヤー接続設定	1			×
接続設定				
₽₽ドレス	192.168.200.200	ソケットポート	50001	۲
			ОК	キャンセル

(1)本画面の起動

メニューバーの「設定」→「接続管理」カテゴリー内→「プレーヤー接続設定」をクリックし ます。

(2)設定

①IP アドレス

プレーヤーのIPアドレスを設定します。

②ソケットポート

プレーヤーのソケットポート番号を設定します。 設定範囲は 1024~65535 です。

(3) 設定の保存と本画面の終了

OK ボタンをクリックすることで設定を保存し、本画面を閉じます。

(4)本画面の終了

<u>キャンセル</u> ボタンをクリックします。

「OK」ボタンをクリックせずに「キャンセル」ボタンをクリックした場合は変更した設定値は無効となります。

2.3.1 システムログ表示

◇システムログを表示します。

œ	システムログ			
	ログ日時	卓名称	通知 通知	
\Box	2014/02/28 18:19:02	卓4	しきい値設定が異常終了しました(CHC接続未設定)	
	2014/02/28 18:19:02	卓5	しきい値設定が異常終了しました(CHC接続未設定)	
	2014/02/28 18:19:02	卓6	しきい値設定が異常終了しました(CHC接続未設定)	
	2014/02/28 18:19:02	卓7	しきい値設定が異常終了しました(CHC接続未設定)	
	2014/02/28 18:19:02	卓8	しきい値設定が異常終了しました(CHC接続未設定)	
	2014/02/28 18:19:02	卓9	しきい値設定が異常終了しました(CHC接続未設定)	
	2014/02/28 18:19:02	卓10	しきい値設定が異常終了しました(CHC接続未設定)	
	2014/02/28 18:19:02	卓11	しきい値設定が異常終了しました(CHC接続未設定)	
	2014/02/28 18:19:02	卓12	しきい値設定が異常終了しました(CHC接続未設定)	
	2014/02/28 18:19:03		プレーヤーと接続しました	
	2014/02/28 18:19:04	卓 1	時刻設定が正常終了しました	
	2014/02/28 18:19:29	卓2	録画装置と切断しました	
	2014/02/28 18:19:33	卓2	CHC と切断しました	
Þ	2014/02/28 18:19:37	卓1	チャブター判定を開始しました【入力信号:480i】	
				T

(1)本画面の起動

メニューバーの「ログ操作・状況表示」→「ログ操作」カテゴリー内→「システムログ表示」 をクリックします。

(2)本画面の終了

画面右上の ボタンをクリックします。

2.3.1 ログ検索

◇条件を指定してログを検索します。

	[1	Ŧ		
第二 発生日]時指定		時気川	
開始	2013/12/15		16:34:42	
終了	2013/12/16		16:34:42	
■ +~.	フード(内容)指定			

(1)本画面の起動

メニューバーの「ログ操作・状況表示」→「ログ操作」カテゴリー内→「ログ検索」をクリッ クします。

(2)検索条件の設定

検索条件設定は AND 条件となります。

①卓指定

検索する卓を指定します。

②発生日時指定

検索範囲の日時を FromTo 指定します。

③キーワード(内容)指定

ログをキーワード検索する時に指定します。

(3)検索結果の表示と保存

検索開始 ボタンをクリックすることでログ検索画面が終了し、ログ検索結果画面を表示します。

①結果を csv ファイルに保存

ファイルメニューから表示します。



②ログ検索結果のソート

タイトルをクリックすると、クリックした項目+日時の昇順でソートします。

(4)ログ検索画面の終了

<u>キャンセル</u> ボタンをクリックします。

2.3.2 ログ削除

◇ 取得したログデータを全て削除します。

◇ 本機能に画面は存在しません。

・ログの削除

メニューバーの「ログ操作・状況表示」→「ログ操作」カテゴリー内→「ログ削除」をクリッ クします。

情報	×
1	ログを全て削除します。よろしいですか?
	(はい(Y) しいえ(N)

<u>はい(Y)</u> ボタンをクリックすると、全てのログを削除します。

※ログの削除は、データベース上のデータを削除されるのみで、保存したシステムログ(CSV ファイル)は削除しません。

2.3.3 判定結果ログ読込み

◇判定結果ログを表示します。

Q	判定結果ログ							
	ログ日時	内部日時	тс	チャプター	番号	尺	通知	×
	2014/02/28 17:30:46						チャプター判定を開始しました【入力信号:4801】	
	2014/02/28 17:30:57	2014/02/28 17:30:51:01	17:30:51:01	本編		6 m 27.2 s		
	2014/02/28 17:37:25	2014/02/28 17:37:18:07	17:37:18:07	CM	1	0 m 14.9 s		
	2014/02/28 17:37:40	2014/02/28 17:37:33:05	17:37:33:05	CM	2	0 m 14.9 s		
	2014/02/28 17:37:54	2014/02/28 17:37:48:03	17:37:48:03	CM	3	0 m 15.0 s		
	2014/02/28 17:38:09	2014/02/28 17:38:03:04	17:38:03:04	CM	4	0 m 15.1 s		
	2014/02/28 17:38:25	2014/02/28 17:38:18:06	17:38:18:06	CM	5	0 m 14.9 s		
	2014/02/28 17:38:40	2014/02/28 17:38:33:04	17:38:33:04	CM	6	0 m 15.0 s		
	2014/02/28 17:38:55	2014/02/28 17:38:48:05	17:38:48:05	CM	7	0 m 15.0 s		
	2014/02/28 17:39:10	2014/02/28 17:39:03:05	17:39:03:05	CM	8	0 m 15.0 s		=
	2014/02/28 17:39:25	2014/02/28 17:39:18:06	17:39:18:06	CM	9	0 m 14.9 s		
	2014/02/28 17:39:39	2014/02/28 17:39:33:04	17:39:33:04	CM	10	0 m 15.1 s		
	2014/02/28 17:39:54	2014/02/28 17:39:48:06	17:39:48:06	本編		7 m 56.8 s		
Þ	2014/02/28 17:47:45						チャプター判定を終了しました	-
5	<u>될No.</u> 1 卓名称	卓1	読込みファイル []グ_201402	228_1730	43_ALVIX.csv	別ログ読込	ъ

(1)本画面の起動

メニューバーの「ログ操作・状況表示」→「ログ操作」カテゴリー内→「判定結果ログ読込み」 をクリックし、ファイル選択ダイアログで判定結果ログ(*. csv)を選択します。

(2)操作

①別ログ読込み

<u>別ログ読込み</u>をクリックし、ファイル選択ダイアログで判定結果ログ(*. csv)を 選択します。表示中のログは上書きされます。

②同録再生

判定結果ログをダブルクリックすると、同録再生を準備します。 (注)再生できる同録は、直近24時間分に限られます。

(3)本画面の終了

画面右上の = ボタンをクリックします。

2.3.4 共通設定

◇グラフの設定、ロゴ領域、ヒストグラムの設定を行います。

	共通設定 🛛 🔪	
1	卓 1 ▼	
	グラフ表示 🔘 OFF 💿 ON 🖉	
	ロール速度: 停止 3	
4	0:停止 5 10 15:速度高	
6	□ゴ領域表示: 表示 登録エッジ表示 ▼	6

(1)本画面の起動

メニューバーの「ログ操作・状況表示」→「状況表示」カテゴリー内→「共通設定」をクリッ クします。

(2)設定変更

①卓選択

設定変更を行う卓を選択してください。

② グラフON/OFF設定

グラフ表示を行う場合は「ON」を、行わない場合は「OFF」を選択してください。

③グラフロール停止/再生

「停止」 ボタンをクリックすると、グラフが停止します。グラフが停止している時は、
ボタンは 再生 になります。

再生 ボタンをクリックすると、停止直前の速度でグラフが動作します。

④ロール速度設定

グラフのロール速度を設定します。

トラックバーを移動させることで、0~15の任意の速度を設定できます。

速度は、0で停止、15で最高速度となります。

⑤ロゴ領域表示設定

ボタンをクリックし、ロゴ領域の表示、非表示を設定します。

リストより検知領域の表示(領域矩形表示)、リアルタイムに検出されたエッジ画像(リアル タイムエッジ表示)、2値化処理後のロゴのエッジ画像(2値化エッジ表示)、登録ロゴのエ ッジ画像(登録エッジ表示)を選択します。

エッジ画像の選択は、ヒストグラム表示設定で選択する項目に連動して切替ります。

⑥ヒストグラム表示設定

ボタンをクリックし、ヒストグラムの表示、非表示を設定します。

リストよりリアルタイムに検出されたエッジ画像(リアルタイムエッジ表示)、登録ロゴのエ ッジ画像(登録エッジ表示)に対するヒストグラムを選択します。

エッジ画像の選択は、ロゴ領域表示設定で選択する項目に連動して切替ります。

※各設定項目は、変更を行うと即、装置本体に設定値が反映されます。

(3)本画面の終了

画面右上の = ボタンをクリックします。

2.3.5 運用状況リスト表示切替

◇運用状況リストの表示/非表示を切り替えます。◇本機能に画面は存在しません。

・運用状況リスト表示切替

メニューバーの「ログ操作・状況表示」→「状況表示」カテゴリー内→「運用状況リスト表示 切替」をクリックします。

(運用状況リスト非表示例)

					アルビクス	ス チャプター検知!	装置《CHC-100》		- = ×
	😇 設定 口グ搏	操作・状況表示 ハード憎	輛参照						
Г	A								
	卓1							ALVIX	
E	ログ日時	内部日時	TC	f+7%-	番문	R	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·		2时间(dB) -55
Ŀ	2014/02/28 18:44:42	2014/02/28 18:44:35:08	18:44:35:08	CM	7	0 m 15.0 s			π [°] ON
Ŀ	2014/02/28 18:44:56	2014/02/28 18:44:50:08	18:44:50:08	СМ	8	0 m 15.1 s		不感帯眼	部[秒] 1
IT.	2014/02/28 18:45:13	2014/02/28 18:45:05:10	18:45:05:10	CM	9	0 m 14.9 s		デー如採取	7時間(秋) 5
IT.	2014/02/28 18:45:27	2014/02/28 18:45:20:08	18:45:20:08	СМ	10	0 m 15.0 s		和問題係業	如平均1 0.25
IT.	2014/02/28 18:45:42	2014/02/28 18:45:35:09	18:45:35:09	СМ	11	0 m 15.0 s		相関係業	如(偏差)1 0.25
Ľ	2014/02/28 18:45:57	2014/02/28 18:45:50:08	18:45:50:08	СМ	12	0 m 15.1 s		和明明(玄奘)	((平水))2 -
Ľ	2014/02/28 18:46:14	2014/02/28 18:46:05:10	18:46:05:10	СМ	13	0 m 15.0 s		和明代家族	1(何美)2
17	2014/02/28 18:46:27	2014/02/28 18:46:20:11	18:46:20:11	本編		1 m 00.0 s		1日天11不安) 11日天11不安)	(平均)2 -
11	2014/02/28 18:47:28	2014/02/28 18:47:20:12	18:47:20:12	СМ	1	0 m 15.0 s			ハ(〒23)3 -
Г	2014/02/28 18:47:43	2014/02/28 18:47:35:11	18:47:35:11	СМ	2	0 m 15.0 s		1日第1条数	以偏左)3 -
Г	2014/02/28 18:47:57	2014/02/28 18:47:50:10	18:47:50:10	СМ	3	0 m 15.0 s		111期1条数	1(平均)4 -
17	2014/02/28 18:48:13	2014/02/28 18:48:05:11	18:48:05:11	CM	4	0 m 15.0 s		7日[関1系受]	』(偏差)4 -
17	2014/02/28 18:48:28	2014/02/28 18:48:20:11	18:48:20:11	本編		0 m 15.0 s			
17	2014/02/28 18:48:43	2014/02/28 18:48:35:11	18:48:35:11	СМ	1	0 m 13.5 s			
Г	2014/02/28 18:48:56	2014/02/28 18:48:48:25	18:48:48:25	СМ	2	0 m 16.6 s			
Г	2014/02/28 18:49:13	2014/02/28 18:49:05:12	18:49:05:12	СМ	3	0 m 15.0 s			
Г	2014/02/28 18:49:28	2014/02/28 18:49:20:11	18:49:20:11	СМ	4	0 m 15.0 s			
11	2014/02/28 18:49:55	2014/02/28 18:49:35:12	18:49:35:12	本編		1 m 41.8 s			
11	2014/02/28 18:51:24	2014/02/28 18:51:17:06	18:51:17:06	СМ	1	0 m 14.9 s			
11	2014/02/28 18:51:39	2014/02/28 18:51:32:04	18:51:32:04	CM	2	0 m 14.9 s			
17	2014/02/28 18:51:54	2014/02/28 18:51:47:02	18:51:47:02	CM	3	0 m 15.0 s			
17	2014/02/28 18:52:09	2014/02/28 18:52:02:03	18:52:02:03	CM	4	0 m 15.0 s			
17	2014/02/28 18:52:23	2014/02/28 18:52:17:03	18:52:17:03	CM	5	0 m 15.0 s			
11	2014/02/28 18:52:38	2014/02/28 18:52:32:03	18:52:32:03	СМ	6	0 m 15.0 s			
1	2014/02/28 18:52:53	2014/02/28 18:52:47:04	18:52:47:04	CM	7	0 m 15.0 s		E	
17	2014/02/28 18:53:08	2014/02/28 18:53:02:04	18:53:02:04	CM	8	0 m 15.0 s			
17	2014/02/28 18:53:24	2014/02/28 18:53:17:05	18:53:17:05	CM	9	0 m 14.9 s			
17	2014/02/28 18:53:39	2014/02/28 18:53:32:03	18:53:32:03	CM	10	0 m 15.1 s			
1	2014/02/28 18:53:53	2014/02/28 18:53:47:05	18:53:47:05	本編		0 m 49.4 s			
Þ	2014/02/28 18:54:43	2014/02/28 18:54:36:18	18:54:36:18	CM	1				
1.									
								ログ選択サル	<u> </u>
						18.		519 a. 19	
		CONTRACT OF CONTRACT OF CONTRACT	1 4 4 4 4						
			1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1						783
1		100				-			4 4
	2014/02/28 18	:53:17	2014/02/28 18:53	:32		2014/02/28 18	53:47 2014/02/28 18:54:36	2014/02/28 1	18:52:47
Т									
T.	早1		卓1			早1		卓1	

2.4 ハード情報参照

2.4.1 バージョン情報

◇ CHC-100 のバージョン情報を参照します。

CHCバージョン	×
確認を行なう卓Noを選び 1	択して下さい
項目 FRCA) (cr	バージョン
ファームVer SNMPファームVer	
同録ファーム Ver 機器名称	
	閉じる

(1)本画面の起動

メニューバーの「ハード情報参照」→「CHC 情報参照」カテゴリー内→「バージョン情報」 をクリックします。

(2)卓 No.の選択



(3)バージョンの確認

要求実行 ボタンをクリックします。

(4)本画面の終了

閉じるボタンをクリックします。

2.4.2 閾値参照

◇ CHC-100 の閾値を参照します。

闌値参照			X
西台ナクニンキル、ナジオロ・ナノナット			
要求を行う早№を選択してたさい	THE THE ASSOCIATE		
Ţ	要求关门		
項目名称	値	内容	
設定/検知状態			
[抽出]座標(X)			
[抽出]座標(Y)			
[抽出]領域(H)			
[抽出]領域(W)			
[抽出]エッジデータゲイン			
[抽出]2値化閾値			
[抽出]口ゴ抽出操作			
[ロゴ1]座標(X)			
[ロゴ1]座標(Y)			
[口ゴ1]領域(H)			
[口ゴ1]領域(W)			
[口ゴ1]エッジデータゲイン			
四ゴ1]2値化閾値			
四ゴ1]相関係数(平均値)閾値			
[ロゴ1]相関係数(標準偏差)閾値			
[ロゴ2]座標(X)			
[ロゴ2]座標(Y)			
[口ゴ2]領域(H)			
[口ゴ2]領域(W)			
[ロゴ2]エッジデータゲイン			
[四二2]2値化閾値			
[四ゴ2]相関係数(平均値)閾値			
[口ゴ2]相関係数(標準偏差)閾値			
[□=ゴ3]座標(X)			
[□=ゴ3]座標(Y)			
[凵凵3]領域(H)			
[□=ゴ3]領域(W)			
[IIIゴ3]エッジデータゲイン			~
			問!"ろ
			1410.9

(1)本画面の起動

メニューバーの「ハード情報参照」→「CHC 情報参照」カテゴリー内→「閾値参照」をクリ ックします。

(2)卓 No.の選択

(3)CHC-100の閾値参照

要求実行 ボタンをクリックします。

(4)本画面の終了

閉じるボタンをクリックします。

2.4.3 状態参照

◇ CHC-100 の状態を参照します。

状態参照			X
確認を行なう卓No.を選択して下さい	_		
1	·	要求実行	
項目名称	値	内容	
ステータス			
門定状態門定結果			
「判定状態」判定ステータス			
[信号状態]同期断			
[信号状態]入力タイミング			
[信号状態]VITC有無			
[信号状態]VITC状態			
[信号状態]VITC不連続			
[信号状態]LTC有無			
[信号状態]LTC状態			
[信号状態]LTC不連続			
[局間情報]有無			
「局間情報」音声モード			
タイムコード			
内部時計			
			問!"ろ
			COLHI

(1)本画面の起動

メニューバーの「ハード情報参照」→「CHC 情報参照」カテゴリー内→「状態参照」をクリ ックします。





(3)CHC-100の状態参照

要求実行ボタンをクリックします。

(4)本画面の終了

閉じる ボタンをクリックします。

◇ CHC-100 の時刻参照と時刻設定を行います。

時刻参照・設定	×
確認を行なう卓Na 1	.を選択して下さい
時刻の確認	
確認	СНС
	PC時刻
時刻の設定	
PCの時刻	「を設定」
	閉じる

(1)本画面の起動

メニューバーの「ハード情報参照」→「CHC 情報参照」カテゴリー内→「時刻参照・設定」 をクリックします。

(2)卓 No.の選択



(3)時刻参照

確認 ボタンをクリックします。

(4)時刻の設定

PCの時刻を設定 ボタンをクリックすると PC の現在時刻を CHC に設定できます。

(5)本画面の終了

閉じるボイ

ボタンをクリックします。

2.4.5 NetQ 出力参照・設定

◇ CHC-100のNetQ出力の設定状態の参照と、設定を行います。

MetQ出力参照・	
要求を行う卓No.を 1	E選択してください
NetQ出力の設定	E
設定	 挿入しない 入力状態を保持したまま出力します。(NetQパケットの有無には関係しません) 強制挿入する 入力のNetQパケットの有無に関係なく、新規パケットを挿入します。 自動挿入する 入力(ZNetQパケットがない場合にのみ新規パケットを挿入します。なお、パケットがある場合は、曽木にトリガ情報を上書きする。
	閉じる

(1)本画面の起動

メニューバーの「ハード情報参照」→「CHC 情報参照」カテゴリー内→「NetQ 出力参照・設 定」をクリックします。

(2)卓 No.の選択


(3)設定参照

確認 ボタンをクリックすると、選択した卓 No.に接続してある CHC-100 の NetQ 出力

の設定状態を以下のように表示します。



(4)出力設定

設定を選択し、
設定
ボタンをクリックすることにより、選択した卓 No.に接続してある
CHC-100 に設定を行うことができます。

(5)本画面の終了

閉じるボタンをクリックします。

2.5 メンテナンス

2.5.1 疑似トリガ出力

◇ CM開始点/終了点トリガを疑似的に出力します。

	疑	
		出力を行なう卓No.を選択して下さい 1
1		CM開始点信号位置 Q3 ▼ CM終了点信号位置 Q4 ▼
2		インターバル 5 (秒) 1 5 10
		出力

(1)本画面の起動

メニューバーの「メンテナンス」→「メンテナンス」カテゴリー内→「疑似トリガ出力」をク リックします。

(2)卓 No.の選択



(3)トリガ信号の出力設定

①CM 開始点/終了点信号位置

CM 開始点/終了点を表すトリガ信号のビット位置を、それぞれリストより選択し、設定します。ビット位置はQ3~Q32の中から選択できます。

但し、CM開始点トリガ信号位置と、CM 終了点トリガ信号位置は異なるビットを指定して ください。

②インターバル

CM 開始点と CM 終了点のトリガ信号の出力間隔を設定します。 値は1~10秒の範囲で設定します。 (4)トリガ信号の出力と停止

出力 ボタンをクリックすると、トリガ信号の出力を開始し、ボタンは、 停止 になります。

停止 ボタンをクリックすると、トリガ信号の出力は停止します。

※CHC-100は、装置本体内部に遅延回路を内蔵してあるため、出力/停止操作をしてから、 実際の信号出力に反映するまで、約26秒の遅延があります。

(5)本画面の終了

画面右上の ボタンをクリックします。

2.6 システムの終了・ソフトウェアバージョン情報

2.6.1 システムの終了

◇ システムを終了します。



(1)本画面の起動

スタートボタンより、「システムの終了」をクリックします。

確認ダイアログが表示されるので、終了する場合は「はい」をクリックしてください。 「いいえ」をクリックすると、ダイアログを閉じ、メイン画面に戻ります。

情報	×
終了してもよろしいですか? 終了する場合は「はい」をクリックしてください	•
(はい(<u>Y</u>) いいえ	૨(N)

判定中の卓がある場合は、判定を停止していいか確認のダイアログが表示されます。 「はい」をクリックすると、判定を停止し、終了確認ダイアログを表示します。 「いいえ」をクリックすると、ダイアログを閉じ、メイン画面に戻ります。



2.6.2 ソフトウェアバージョン情報

◇ 検出システムのバージョン情報を表示します。



(1)本画面の起動

スタートボタンより、「ソフトウェアバージョン」をクリックします。



(2)本画面の終了

本画面をクリックします。

3. プレーヤー

3.1 プレーヤー 画面

- ◇ 検出システムで作成された、同録ファイルを再生します。
- ◇ チャンネル、日時を指定して再生できます。



詳細については以下を参照してください。

- ① 3.1.1 メニューバー
- ② 3.1.2 ビデオ動画再生パネル
- ③ 3.1.3 シークバー
- ④ 3.1.4 動画再生リモコン
- ⑤ 3.1.5 音量調整パネル
- ⑥ 3.1.6 機能ボタンパネル

3.1.1 メニューバー

(1)保存した同録ファイル(AVIファイル)の再生

メニューバーの「ファイル」→「開く」をクリックします。

(2)再生中同録ファイル(AVIファイル)の削除

メニューバーの「ファイル」→「再生動画ファイル削除」をクリックします。

(3)メタデータ表示設定

メニューバーの「設定」→「メタデータ表示設定」をクリックします。

メタデータ動画を表示	示する。		
- 同録に映像比較エラ-	-ブロック(枠線)を表示する		
同録にエラーアイコン	シーシン(ハール)ことシンシン		
	2200,9 80		
タデータ詳細設定(チェックさ	れた項目を表示及びエラーチェック	を行い <mark>ま</mark> す。)	
央像	音声	局間情報	同録モード
] 映像状態	音声ch1/2逆相	☑ 局間情報(状態)	☑ 映像選択
] プラック	音声ch3/4逆相	□ 局間情報(アスペクト比)	□ 音声ソース
] フリース*	音声ch5/6逆相	☑局間情報(音声モート*)	□ 音声ch
]輝度レヘ*ル	音声ch7/8逆相	A 440 Y	hang nga panan
]色差1/1*1/		比較15-	ラウドネス
] 7*599(9121*9)	□ CH1音声I/ヘ*ル	□ 映像比較15-	▼ ラウドネス out1
] フリース*(ウイント*ウ)	□ CH2音声I/ヘ*ル	□ 色差比較15-	▼ ラウドネス out2
] 輝度レベル(ウインドウ)	□ CH3音声I小* //	□ 音声比較1L不一致	□ ラウドネス計測モード
] 色差レベル(ウインドウ)	□ CH4音声I/ヘ*ル	□ 音声比較1R不一致	
Second Contraction of	□ CH5音声I/ヘ*ル	□ 音声比較2L不一致	パカパカ
]字幕	CH6音声I小*	□ 音声比較2R不一致	□ 点滅回数 輝度フラッシュA
	□ CH7音声I/*	□ 音声比較3L不一致	□ 点滅回数 輝度フラッシュB
	CH8音声I/*\/	□ 音声比較3R不一致	点滅回数 赤フラッシュ
		□ 音声比較4L不一致	
		□ 音声比較4R不一致	
		□ 画素比較C不一致	
		画素比較Y不一致	
いた。			
		あたちにする日本はあまった。	声作ポオスン声ぶちりナナ
記録をはリアルタイムに反映	にれません。設正後の別が、	ッて参照9 る場合は再生パルを	円1FRX9 る必要が有りま9。

・メタデータ表示設定
 表示したい項目にチェックをつけます。
 グレーになっている項目は、本システムでは使用しません。
 ・メタデータ詳細設定

メタデータ表示を行いたい項目にチェックをつけます。

・ OK ボタンをクリックします。設定を保存し本画面を閉じます。

ボタンをクリックします。設定を保存せずに本画面を閉じます。

(4)移動フレーム数設定

メニューバーの「設定」をクリックし、「移動フレーム数」にカーソルを合わせます。 ここでは下記の移動フレーム数を設定できます。

・再生中のマウスホイールによるコマ送り/コマ戻し

・再生中の画面クリックによるコマ送り/コマ戻し

・シークバーのクリックによるコマ送り/コマ戻し

移動フレーム数は 1~30 フレームまで選択できます。

設定(C) ウインドウ(W)		
メタデータ表示設定(M)		
移動フレーム数(I)	•	10 ・ フレーム

(5)再生リスト参照

メニューバーの「ウィンドウ」→「再生リスト参照」をクリックするか、もしくは機能ボタン パネルの 📻 をクリックします。

プレーヤーで24時間以内に再生した一覧を、発生時刻順で表示します。

※キャプチャ画像は直近を4件まで表示します。

📦 直近同録プレー	イヤー再生リス	ト画面			×
ファイル(<u>F</u>) フ	リイルター(上)				
日付	時刻	SID	アラーム名称	再生	*
2014/02/28	18:57:32	1	2014/02/28 18:57:32:04 CM 1 卓1	済	
2014/02/28	18:57:47	1	2014/02/28 18:57:47:05 CM 1 卓1	済	
2014/02/28	18:58:02	1	2014/02/28 18:58:02:05 CM 1 卓1	済	
2014/02/28	18:58:17	1	2014/02/28 18:58:17:06 CM 1 卓1	済	
2014/02/28	18:58:32	1	2014/02/28 18:58:32:04 CM 1 卓1	済	
2014/02/28	18:58:47	1	2014/02/28 18:58:47:05 CM 1 卓1	済	
2014/02/28	18:59:02	1	2014/02/28 18:59:02:05 CM 1 卓1	済	
2014/02/28	18:59:17	1	2014/02/28 18:59:17:06 CM 1 卓1	済	+
	K				

・同録再生

リストの再生ログもしくはキャプチャ画面をダブルクリックすると、プレーヤーに同録再生 を準備します。 ・フィルター

リストのメニューバーより、自動作成のみ表示と未再生のみ表示を指定できます。 ※本システムでは自動作成機能はありません。

3.1.2 ビデオ動画再生パネル

(1)情報アイコン

メタデータ情報より、判定情報(本編/CM/無音)を表示します。



また、右端に、メタデータの内部時刻を表示します。

(2)ステータスウインドウ

- ・ログ画面クリックによる再生時 ログ画面に表示されているログ内容を表示します。 例.「2013/12/17 08:00:05 本編 1 卓1」
- ・チャンネル、時刻指定により手動作成時
 手動作成条件を表示します。
 例.「(手動作成) 2013/12/17 13:01:15 から5 秒間 1 卓1」
- ・保存した再生ファイル再生時
 再生ファイル名を表示します。

(3)コマ送りコマ戻し

ビデオ動画画面の右側をクリックすると、1フレーム進みます。 左側をクリックすると、1フレーム戻ります。 3.1.3 シークバー

8				

(1)シークバー

同録ファイルの再生に連動して、スライダがシークします。スライダの操作により再生位置を 変更できます。

シークバーをクリックすることで、再生位置を設定した移動フレーム数単位で移動できます。

3.1.4 動画再生リモコン



- ① ▲ 先頭フレームに移動 再生ファイルの先頭フレームに移動し停止します。
- ② ◀ 巻き戻し再生/スロー巻戻し再生

・巻き戻し再生
 再生中にクリックすると巻き戻し再生を行います。クリックする毎に巻戻し速度を2倍
 速→4倍速→8倍速と変更します。
 現在の再生速度をボタン上に、RFW 2x→RFW 4x→RFW 8x と表示します。
 ・スロー巻戻し再生
 停止中にクリックすると1フレーム毎に、コマ戻し再生を行います。
 クリックするたびにコマ戻し間隔を0.5秒→1.0秒→2.0秒と変更します。
 現在のコマ戻し間隔をボタン上に、INT 0.5→INT 1.0→INT 2.0 と表示します。

③ 🔽 停止

再生を停止し、再生ファイルの先頭フレームに移動します。

④ 再生/一時停止

┛ 再生を開始します。クリックすると一時停止ボタンに切り替わります。

▶ 現在の再生位置で一時停止します。 クリックすると再生ボタンに切り替わります。

- ⑤ ▶ 早送り再生/スロー再生
 - ・早送り再生

再生中にクリックすると早送り再生を行います。クリックするたびに早送り速度を2倍 速→4倍速→8倍速と変更します。

現在の再生速度をボタン上に、FF 2x→FF 4x→FF 8x と表示します。

・スロー再生

停止中にクリックすると1フレーム毎に、コマ送り再生を行います。

クリックするたびにコマ送り間隔を 0.5 秒→1.0 秒→2.0 秒と変更します。

- 現在のコマ送り間隔をボタン上に、INT 0.5→INT 1.0→INT 2.0 と表示します。
- ⑥ ▶ 最終フレームに移動

再生ファイルの最終フレームに移動し停止します。

⑦ リピート再生

リピート再生が OFF の状態です。クリックするとリピート再生が ON になります。
 リピート再生が ON の状態です。クリックするとリピート再生が OFF になります。

3.1.5 音量調整パネル

1)

(1)音量トグルボタン

- 音声が出力されている状態を表します。ボタンをクリックすると音声をミュートします。
- ◀ 音声が出力されていない状態を表します。ボタンをクリックするとミュートを解除します。

(2)音量スライダ

音声の音量を変更します。

3.1.6 機能ボタンパネル



①メタデータ表示/非表示ボタン

クリックするごとにメタデータの表示/非表示を切り替えます。

メタデータ非表示時は 🔎 、メタデータ表示時は 🔎 と表示されます。

🕞 直近同録	プレイヤー メタデ・	-5	7表示画面			×
内部日付 TC SDI#1	201 <i>4/ 2/28</i> 19:43:07:01		内部時刻 TC SDI#2	19:- ;	43:07:01 ::	
Trap通知項	B	CHC-100 通知中 SDI#1		内容 SDI#2		
映像状態		480i				
局間情報(状	(態)	ANC-NETQ			75.770	
局間情報(音	清モード)	3	_2+S			
ラウドネス 이미	ut1	-9.4				
ラウドネス 이미	ıt2	-1	28.0			
同錄映像選	択	4	編			

②3×3 画面表示/全画面表示ボタン

・3×3 画面表示ボタン

3x3

分割画面表示モードに切り替え、再生画面を 3x3 分割してビデオ動画再生パネルに表示

します。クリックするとボタンが全画面表示ボタンに切り替わります。



・全画面表示ボタン



全画面表示モードに切り替え、再生画面を全画面でビデオ動画再生パネルに表示します。 クリックするとボタンが分割画面表示ボタンに切り替わります。 ③スナップショットボタン

現在の同録画面上の再生状態を JPG 方式、BMP 方式、PNG 方式にて保存します。

④名前を付けて保存ボタン

表示されている同録ファイル(AVIファイル)を指定フォルダに保存します。

⑤開くボタン

保存した同録ファイル(AVIファイル)を開きます。

⑥手動作成指示画面表示/非表示ボタン

a dr

クリックするごとに手動作成指示画面の表示/非表示を切り替えます。

画面非表示時は 🖃 、画面表示時は Η と表示され	ます。
---------------------------	-----

● 直近同録プレイヤー 手動作成指示画面	×
チャンネル選択 1 CH 1卓1	
時刻 13:01:15 📫 から 5 🔻 秒間	
作历党	閉じる

....

・卓 No.表示

上記画像の赤枠部分は卓No.を表示しています。 数字は手動で変更しないでください。

・チャンネル選択

再生するチャンネルを選択します。

リストボックスより選択するか、 ・ ボタンで選択します。

・再生時刻指定

再生開始時刻と再生時間を指定します。

・再生ファイル作成ボタン/閉じるボタン

作成 ボタンクリックで設定値に基づき再生ファイルを生成します。 ※オンマウスでサムネイルが確認できます。

閉じる ボタンクリックで再生ファイル作成を取り消し、ウィンドウを閉じます。

⑦再生リスト表示/非表示ボタン

クリックするごとに再生リストの表示/非表示を切り替えます。 再生リスト非表示時は 🚺 、再生リスト表示時は 🖬 と表示されます。 再生リストについては 3.1.1「メニューバー」(6) "再生リスト参照"を参照ください。

お問い合わせ先

お買い上げいただきました弊社製品に ついてのアフターサービスは、お買い上 げの販売店におたずねください。 なお、販売店が不明の場合は弊社へお手 数でもご連絡ください。

故障・保守サービスのお問い合わせは
販売店:
TEL 担当

製品の操作方法に関するお問い合わせは

無断転載禁止

アルビクス株式会社

〒959-0214

- 新潟県燕市吉田法花堂1974-1
- TEL:0256-93-5035
- FAX:0256-93-5038